金子備後守元宅

金子城主。通称『伝兵衛』。先祖の出自は、武蔵国入間郡金子郷。『東伊豫七人衆』の事実上の筆頭。同盟者の三好氏(阿波・讃岐)の没落後、主家の石川氏を河野家から離反させて共に長宗我部元親に下り、元親の四国統一を早めた一方、小早川隆景とも独自に誼みを結ぶ。羽柴秀吉の四国攻めに臨み、長宗我部方で唯一の玉砕戦を敢行するも、討死。